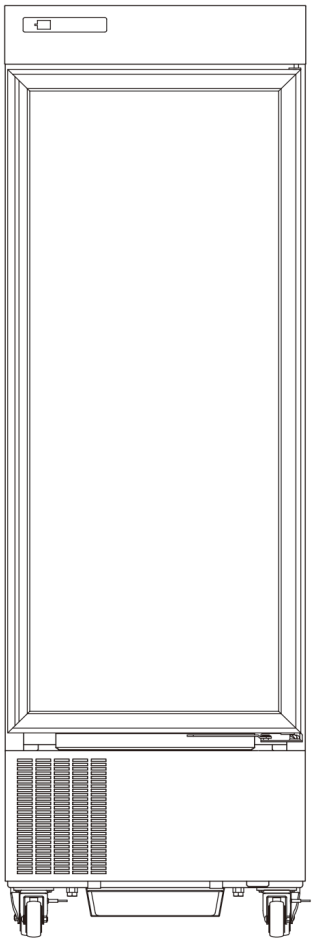
MITSUBISHI ELECTRIC

三菱リーチインショーケース（冷凍機内蔵形）

取扱説明書（業務用）

ジーエフ　ジェイデー　　デーアールブイエー
GF-JD214DRVA



- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。
  特に「安全のために必ず守ること」は必ず読んで正しくお使いください。
- 「保証書」はお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめて、販売店から
  お受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- お使いの製品を譲渡または貸与される場合は、新しくお使いになるお客様が
  安全な正しい使い方を知るために、この「取扱説明書」を製品の目立つ
  ところに添付してください。
- 別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管して
  ください。また製品を譲渡や貸与されるときは製品に添付してください。
- ご使用されるお客様自身で据え付けないでください。
  （安全や機能の確保ができません）

お取扱販売店の方へ

ショーケースをお客様に引き渡しされる前に、必ず
取扱説明書で「安全のために必ず守ること」
「ご使用方法」等をお使いになる方にご説明ください。

もくじ

		ページ
ご使用の前に	安全のために必ず守ること	3
	ご使用上のお願い	5
	各部のなまえとはたらき	6
	ご使用前の準備	8
ご使用のときに	ご使用方法	11
	棚をセットする	･･･11
	冷却運転を開始・停止する	･･･12
	照明を点灯・消灯する	･･･13
	商品を入れる	･･･13
	冷凍⇔冷蔵（日配）を切り替える	･･･14
	ドレン皿の排水処理について	･･･14
	目標温度設定値を変更する	･･･15
	コントローラー キー操作ロック機能について	･･･16
	コントローラー キー操作ロックのしかた	･･･17
	コントローラー キー操作ロック一時解除のしかた	･･･18
	コントローラー キー操作ロック変更・解除のしかた	･･･18
こんなときに	お手入れと点検	19
	お手入れ・点検箇所と頻度	･･･19
	お手入れをする前に	･･･20
	フィルター　お手入れ：月に1回	･･･21
	電源プラグ　お手入れ：半年に1回	･･･21
	ドレン口・ドレン溝　お手入れ：月に1回	･･･22
	漏電遮断器　点検　：月に1回以上	･･･22
	故障かな？と思ったら	23
	運転しない	･･･23
	音がうるさい	･･･23
	照明がつかない	･･･23
	よく冷えない	･･･24
	日配商品が冷えすぎる	･･･24
	ドレン水が床にたれる	･･･24
	コントローラーにエラー表示が出たときは	･･･25
	据付工事確認と試運転	26
	保管・移設・廃棄について	26
	仕様	27
	保証とアフターサービス	28

安全のために必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆ 誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

◆ 図記号の意味は次の通りです。

してはいけない「禁止」事項		
禁止	分解禁止	接触禁止
ぬれ手禁止	水ぬれ禁止	

お守りいただく「指示」事項	
指示を守る	アース接続
電源プラグを抜く	

電源プラグ・電源コード

⚠警告	禁止	**電源コードに重いものをのせたり挟み込んだりしない** 火災・感電の原因	禁止	**電源コードを傷つけたり加工しない** 火災・感電の原因
	禁止	**電源コードを無理に曲げたりたばねたりしない** 火災・感電の原因	禁止	**電源プラグはコードを引っ張って抜かない** 発熱・火災の原因
	ぬれ手禁止	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因	禁止	**電源コードは延長コードの使用やタコ足配線をしない** 発熱・火災の原因
	ほこりを取る	**電源プラグのほこりを定期的に取る** 火災の原因	差し込む	**電源プラグは、がたのないように刃の根元まで確実に差し込む** 火災・感電の原因

据え付け時

⚠警告	水ぬれ禁止	**屋外で使用しない** 火災・感電・漏電の原因	水ぬれ禁止	**湿気の多い所や水のかかりやすい場所に据え付けない** 漏電・感電の原因
	依頼する	**据え付けは取扱販売店または設置業者に依頼する** 火災・感電・水漏れの原因	使用する	**電源は専用の単相100Vコンセントを使用する** 発熱・火災の原因
	アース接続	**アースを接続する** **アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない** 感電の原因	固定する	**製品質量に十分耐える所に据え付けて転倒防止のため確実に固定する** ケガの原因

安全のために必ず守ること つづき

ご使用時

⚠警告	水ぬれ禁止	**製品に直接水をかけない** 漏電・感電の原因	入れない	**揮発性・引火性のあるものは庫内に入れない** 爆発・火災の原因
	置かない	**可燃性のスプレーを近くで使用したり可燃物を置かない** 爆発・火災の原因	ぬれ手禁止	**ぬれた手で電気部品のスイッチを操作しない** 感電の原因
	電源を切る	**漏電遮断器が作動した場合は、電源プラグを抜くか、元電源を切る** 火災・感電の原因	電源を切る	**異常時は運転を停止して電源プラグを抜くか、元電源を切る** 火災・感電の原因
⚠注意	置かない	**製品の上には重量物や水を入れた容器を置かない** ケガ・感電の原因	乗らない	**製品の上に乗らない** ケガの原因
	入れない	**棚には許容質量以上の商品を載せたり投げ入れたりしない** ケガの原因	セットする	**棚の取り付けは正しく確実にセットする** ケガの原因
	ぶら下がらない	**扉にぶら下がらない** ケガの原因	入れない	**庫内温度0℃以下でご使用のときは、庫内にビンやカン類を入れない** ケガの原因

点検・お手入れのとき

⚠警告	分解禁止	**専門業者以外の人は絶対に分解・修理・改造をしない** 火災・感電・水漏れ・ケガの原因	使用しない	**指定以外の冷媒を使用しない** 破裂・ケガの原因
	電源を切る	**お手入れや点検のときは必ず電源プラグを抜くか、漏電遮断器を切る** 感電・ケガの原因	確認する	**漏電遮断器は定期的に動作を確認する** 火災・感電の原因
⚠注意	接触禁止	**フィルター清掃時は凝縮器フィンに直接手を触れない** ケガの原因	電源を切る	**LED交換時は、電源プラグを抜くか、漏電遮断器を切る** 感電の原因

点検・お手入れのとき　つづき

⚠注意	差し込む	**LED交換時は、コネクタを確実に接続する** ケガの原因

保管・移設時

⚠警告	電源プラグを抜く	**長期間ご使用にならない場合は、安全のために電源プラグを抜く** 火災の原因	依頼する	**移設は取扱販売店または専門業者に依頼する** 火災・感電・水漏れ・ケガの原因
	傷つけない	**製品を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードを傷つけないように移動する** 火災・感電の原因	力を加えない	**製品を移動するときは、ガラス部分に力を加えない** ケガの原因
	避ける	**製品を保管する場合は、幼児が遊ぶ場所を避ける** ケガや閉じ込めの原因		
⚠注意	水ぬれ禁止	**長期間ご使用にならない場合は、水のかかる場所や湿気の多い所に保管しない** 漏電・感電の原因	よく乾燥させる	**長期間ご使用にならない場合は、庫内の水気を十分拭き取ったあと、よく乾燥させる** 水漏れの原因
	排水する	**製品を移動するときは、ドレン皿の水を排水する** 漏電・感電の原因	扉を閉める	**製品を移動するときは、扉をしめる** ケガの原因

ご使用上のお願い

- 食品販売用のショーケースです。医薬品や学術試料など食品以外の保管には使用しないでください。
- 硫黄系ガス・酸・アルカリ雰囲気（温泉地・化学薬品工場・下水処理場・メッキ工場・食品加工工場や加工をする店舗）では、熱交換器や配管が腐食をおこすおそれがあります。
  お買い上げの販売店にご相談ください。
- 製品を長く、清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れ・点検をしてください。

各部のなまえとはたらき

本体

コントローラー
P.7

温度
切替スイッチ

庫内照明
(LED)

棚・棚板

スノコ

機械室
(点検蓋内)

点検蓋

点検蓋は上側引掛け、下側マグネット固定です。
下側を手前に引いてマグネットをはずし、上に持ちあげるとはずれます。

電源コード
(本体外長さ3m)

キャスター
ストッパー付
(前側左右2ヵ所)

アジャストボルト
(前側左右2ヵ所)
P.9

固定キャスター
ストッパー無
(後側左右2ヵ所)

機械室

フィルター

外気を吸込むときに、ほこり等による凝縮器の目詰まりを防止するためのフィルターです。
P.21

送風機（凝縮器）

圧縮機

ブレーカーボックス

水位センサ

ドレン皿の水位を検知しています。満水になるとコントローラーのドレン満水警報を点滅してお知らせします。
P.25

凝縮器

コントロールボックス

ドレン皿

漏電遮断器
(カバー内)

P.20 P.22

<機械室を背面から見た図>

※コントロールボックスとブレーカーボックスは一体となっています。

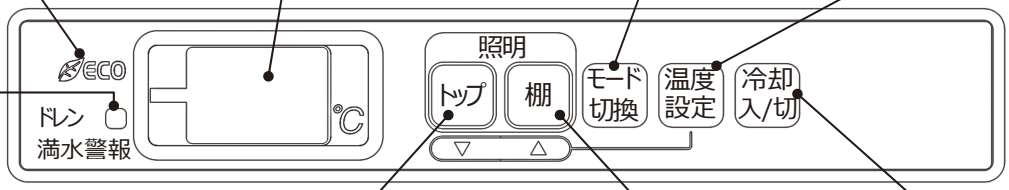
コントローラー

葉っぱとエコのマーク
目標温度設定値に対し庫内温度表示が+3℃以内になったときに点灯します。

表示器
運転中の庫内温度や運転の状態を表示します。設定モード時はモニタ記号や設定値を表示します。

モード切換キー
運転モードから設定モードに切り替えるときに押します。

温度設定キー
目標温度設定のときに押します。
P.15



ドレン満水警報
ドレン皿が満水になると点滅します。
P.14

トップ（▼）キー
庫内照明を点灯・消灯するときに押します。
P.13
設定値を変更（下げる）するときに押します。

棚（▲）キー
設定値を変更（上げる）するときに押します。
※ 棚照明がないため、照明操作機能はありません。

冷却入/切
冷却運転を開始・停止するときに押します。
P.12

運転中の表示

表示	運転状態	表示	運転状態
- - （バーバー）	冷却運転停止中	- 5 ⇄ - E3（庫内温度と異常表示の交互点滅）	異常警告表示 P.25
- 5（例：庫内温度 5℃の場合）	冷却運転中	- 5（点滅）（庫内温度点滅）	点滅周期 3.0秒点灯/0.5秒消灯の場合 異常警告表示 P.25
- dF（デーエフ）	霜取り運転中	- 5（点滅）（庫内温度点滅）	点滅周期 0.5秒点灯/0.5秒消灯の場合 除霜禁止モード P.25
- Pd（ピーデー）	霜取り運転終了後の急冷運転中 ●庫内温度が目標温度設定値+3℃以下になるか、または霜取り運転終了から1時間経過後に庫内温度表示に戻ります。		

霜取り運転の時間について
電源を入れた時から12時間周期（2回/日）で霜取り運転を行ないます。
（霜取り運転の周期は、冷凍時・冷蔵時共に同じです。）

ご使用前の準備

据え付け場所の選定

性能を十分発揮できるよう次のような場所に設置してください。
ご使用されるお客様自身で据え付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

周囲環境

温度	15～27℃
湿度	60%以下

- この表の範囲をはずれると性能の低下の原因になります。
- 周囲温度が35℃以上（夜間、空調運転停止時など）になると、保護装置により正常な運転が保てなくなります。

熱気から離れたところ

- 近くに熱源があるところや、直射日光のあたるところに据え付けないでください。

▼

ショーケースの周囲温度が上昇し、冷却性能低下の原因になります。

吸気・排気スペースを確保する

- ショーケースの前後左右に10cm以上のすきまを確保してください。
- 前面と左側面の吸気口や背面の排気口をダンボールや商品などでふさがないでください。

▼

吸気・排気スペースを確保していないと、冷却性能低下の原因になります。

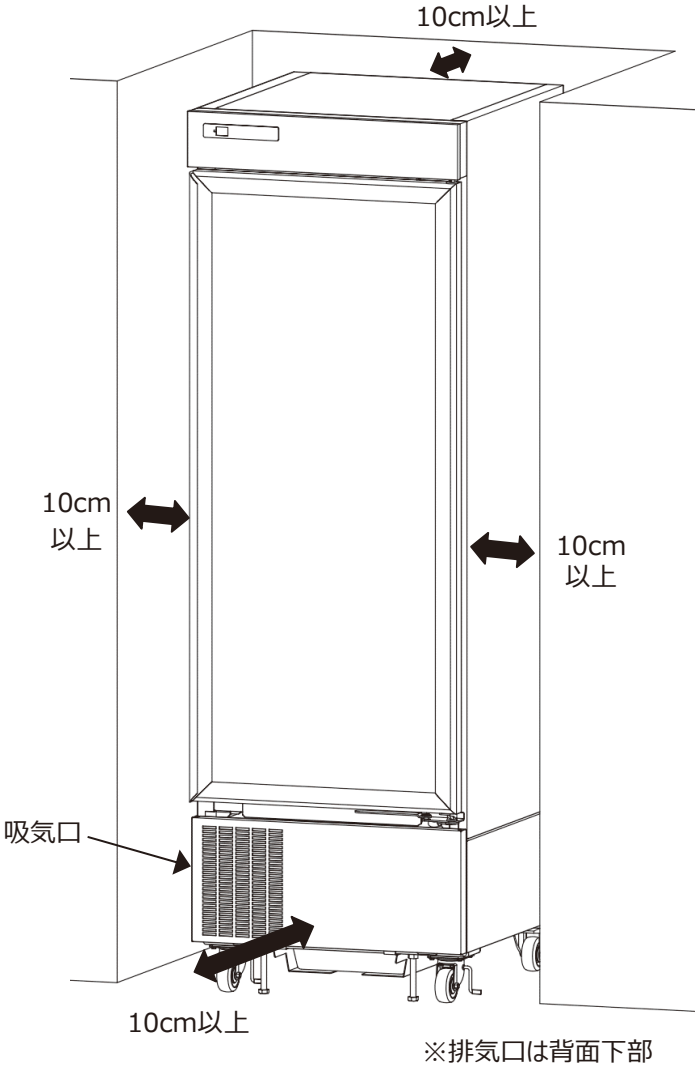
丈夫で水平なところ

- 丈夫で水平なところに据え付けてください。

▼

音や振動の原因になります。

⚠警告	**据え付けは取扱販売店または設置業者に依頼する** 火災・感電・水漏れの原因
	屋外で使用しない 火災・感電・漏電の原因
	湿気の多い所や水のかかりやすい場所に据え付けない 漏電・感電の原因



※排気口は背面下部

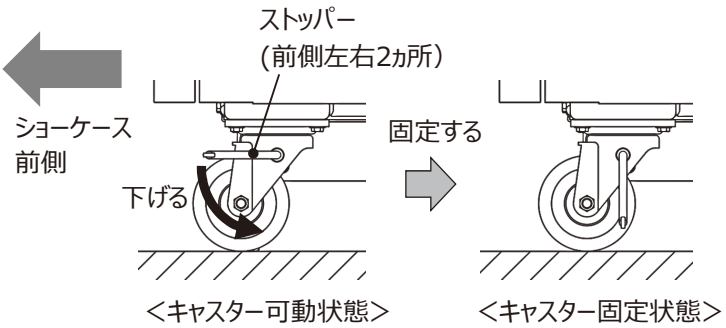
設置

ショーケースが移動しないように、アジャストボルト（前側左右2ヵ所）とキャスター（前側左右2ヵ所）のストッパーで固定してください。しっかり固定するまで、扉に手を掛けるなど荷重を前側にかけないでください。

キャスター固定

キャスターのストッパーで前側左右2ヵ所を固定してください。

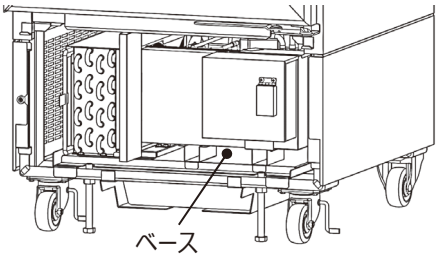
●キャスターの向きは右図「キャスター固定状態」のようにストッパーを下げて、しっかり固定してください。

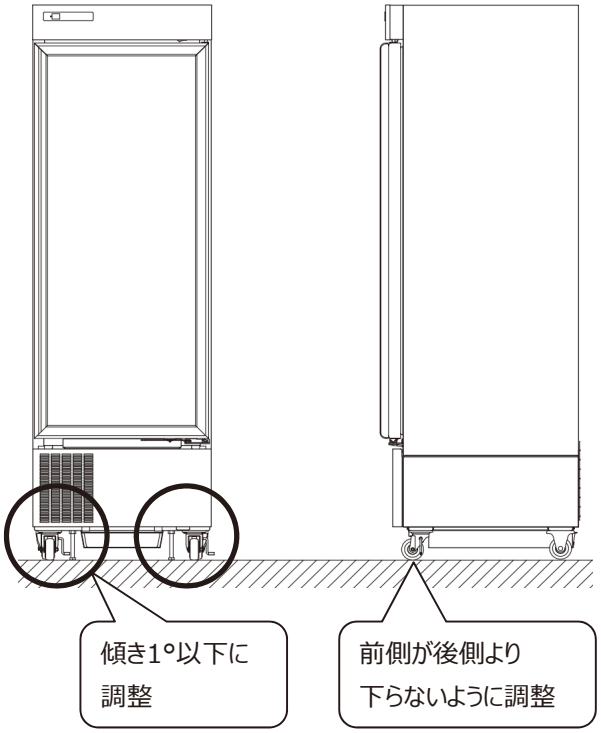


左右の傾き

ショーケースの左右の傾きが1°以下になるようにアジャストボルトで調整し固定してください。

●水平の確認は機械室（点検蓋内）のベース上で行ってください。

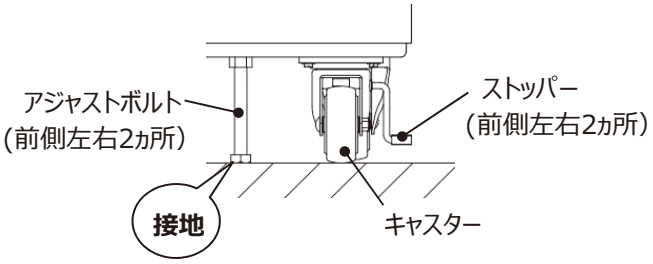




前後の傾き

前後の移動・前倒れがないようにアジャストボルトで調整し固定してください。

●前倒れになっている場合は、扉が閉まりにくくなります。



⚠ 警告	**製品質量に十分耐える所に据え付けて転倒防止のため確実に固定する** ケガの原因

ご使用前の準備 つづき

電源

電源

電源	電源プラグ
単相100V	2極接地極付（125V 15A）

⚠警告	**電源は専用の単相100V コンセントを使用する** 発熱・火災の原因

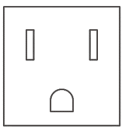
アース

万が一の感電を防止するために、アースを接続してください。

- 電源プラグはアース付になっています。単相100V 2極接地極付コンセントに差し込み、アースをとってください。
- アース端子がない場合は、必ずD種接地（アース）工事を実施してください。

このショーケースの据え付けは、お買い上げの販売店が下記に基づき実施しています。
据付工事完了後、26ページの事項をお客様自身でご確認ください。

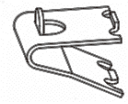
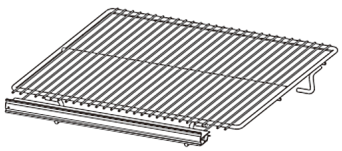
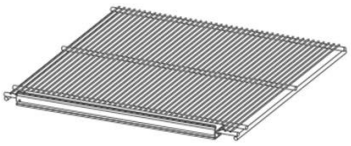
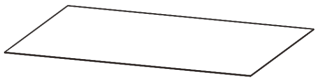
工事名	関連法規・内容	資格
アース接地工事	「電気設備に関する基準」及び「内線規程」	第二種電気工事士

コンセント差し込み形状

2極接地極付

⚠警告	**アースを接続する** **アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線には接続しない** 感電の原因

付属品

ご使用にあわせて棚位置をアレンジして商品を陳列することができます。下記の部品をご使用ください。

受け金具	スノコ	棚	棚板
 ご使用方法 P.11 数量 20個	 数量 1枚	 ご使用方法 P.11 数量 5枚	 ご使用方法 P.11 数量 5枚

ご使用方法

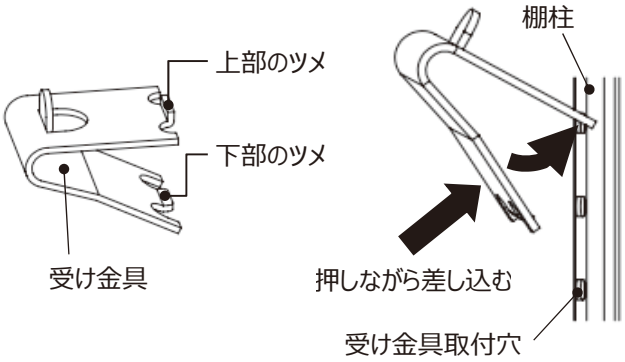
食品販売用のショーケースです。医薬品や学術試料など食品以外の保管には使用しないでください。

棚をセットする

付属の受け金具を棚柱の取付穴に差し込み、その上に棚をのせてください。

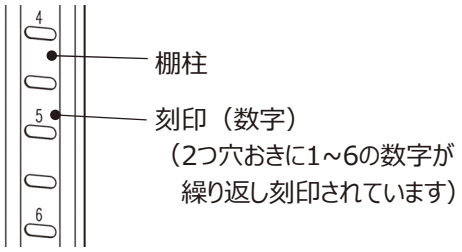
1 棚をセットする位置に受け金具を取り付ける

- 受け金具は棚一枚につき4個必要です。
- 棚をセットする位置に、上部のツメを棚柱の取付穴に差し込んだあとに、下側を押し上げながら下部のツメを穴に差し込む。



受け金具の取付位置の目安について

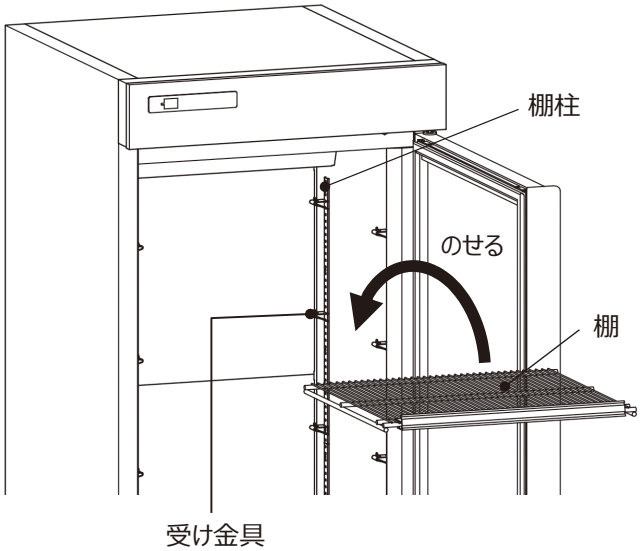
棚柱に受け金具取付位置の目安となる刻印（数字）があります。
刻印を目安に4ヵ所の受け金具が同じ位置になるように取り付けてください。



2 棚を受け金具の上にのせる

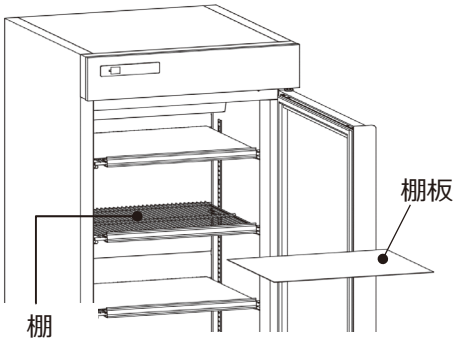
- 棚はがたつきのないことを確認ください。

⚠注意	**棚の取り付けは正しく確実にセットする** ケガの原因



棚板について

商品の温度を均一に保つために、棚の上にのせてご使用ください。
初めてご使用になる場合は、棚板の保護シートをはがしてください。



ご使用方法 つづき

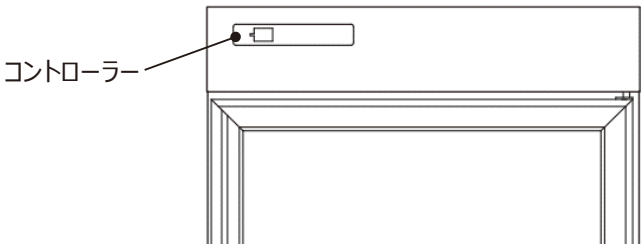
冷却運転を開始・停止する

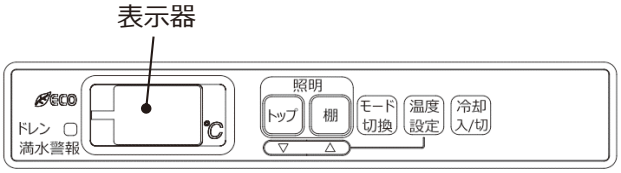
運転を開始する前に、ショーケース専用の単相100Vコンセントを使用していることを確認してください。

1 **表示器に** ー ー

が表示されていることを確認する

●表示されていないときは、漏電遮断器がOFFになっていないか確認してください。

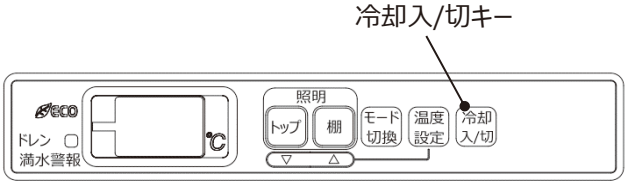




2 冷却入/切 **を3秒以上押し続け、**

運転を開始する

●圧縮機は停止保持時間5分経過後に動き始めます。

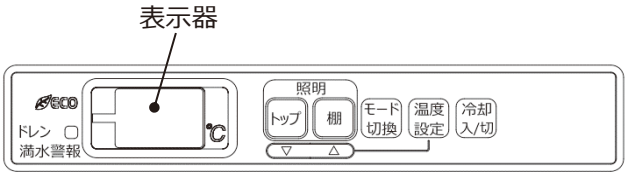


3 **表示器に庫内温度** 20

(例：庫内温度20℃の場合)

が表示されたことを確認する

●冷却運転開始時の庫内温度が表示されます。

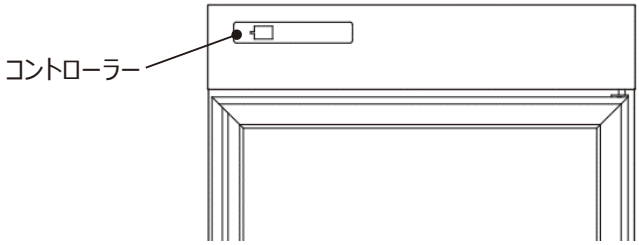


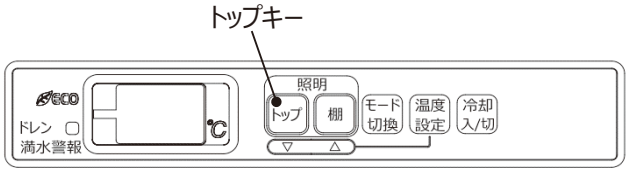
冷却運転を停止するときは、冷却入/切キーを3秒以上押し続けてください。
表示が『ー ー』に変わります。

照明を点灯・消灯する

コントローラーの トップ を押し、照明を点灯する

●消灯するときは、再度トップキーを押してください。





商品を入れる

1 **冷却運転を開始する** P.12

2 **庫内が冷えてから、商品を庫内に入れる**

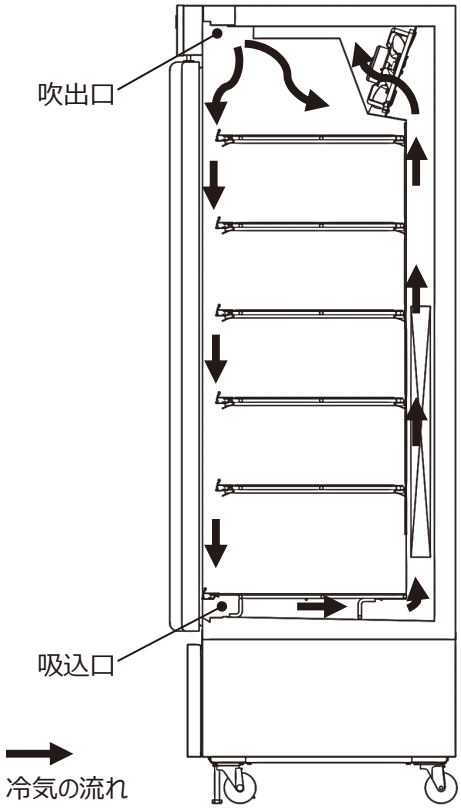
●商品等で吹出口や吸込口を塞いだり、棚よりはみ出して陳列すると、冷気の流れが乱れ商品が冷えにくくなります。

●あらかじめ冷やした商品を陳列してください。

●陳列棚に許容質量以上の商品を載せないでください。

許容質量（棚1枚あたり）	**60kg**

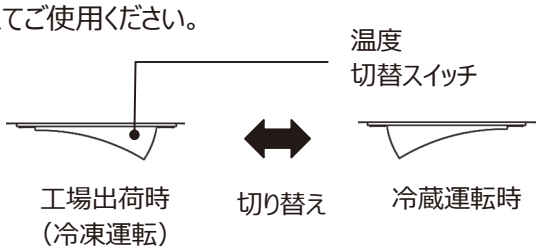
⚠注意	**棚には許容質量以上の商品を載せたり投げ入れたりしない** ケガの原因

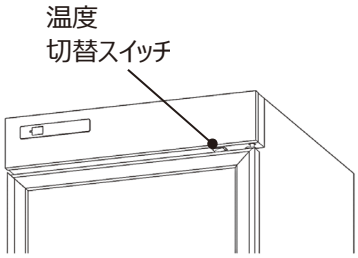


ご使用方法 つづき

冷凍⇔冷蔵（日配）を切り替える

冷凍 ⇔ 冷蔵 を温度切替スイッチで簡単に切り替えできます。
工場出荷時は冷凍に設定していますので、冷蔵運転でご使用のときは切り替えてご使用ください。



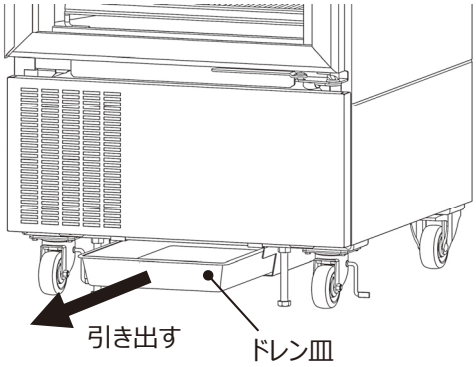


ドレン皿の排水処理について

ドレン皿にたまった水は 1 日に 1 回以上排水をしてください。梅雨時期や夏場はドレン水がドレン皿にたまりやすくなります。排水回数を増やしてしてください。
ドレン皿が満水になるとコントローラーのドレン満水警報を点滅してお知らせします。以下の手順で解除してください。

1 **ドレン皿中央部分の上下に指をかけてしっかりつかみ、手前に引き出す**

- ドレン皿にドレン水がたまっていますのでこぼさないようにゆっくりと引き出してください。



2 **引き出したドレン皿の水を水桶（バケツ）などに排水する**

- 水を捨てるときは水桶（バケツ）などを用意し、捨てた後はすぐにドレン皿を元の位置に戻してください。

処置が終了しましたら、逆の手順で部品を元に戻してください。ドレン皿は奥につきあたるまで挿入してください。

目標温度設定値を変更する

コントローラーの目標温度設定値を変更し、庫内温度を調整することができます。
工場出荷時は、冷凍目標温度 **-24℃** 冷蔵目標温度 **5℃** に設定しています。

1 温度設定 を3秒以上押し続ける

●モニタ記号と現在の目標温度設定値が交互に表示されます。

コントローラ表示内容

（モニタ記号）　（庫内温度-24℃の場合）

2 トップ ▼ 棚 ▲ を押し、

目標温度設定を変更する

●設定値を変更すると交互表示はとまります。

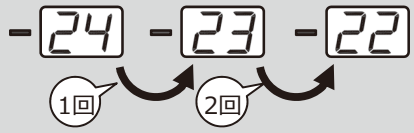
●トップキー：設定値を下げるときに押します。
　棚キー　：設定値を上げるときに押します。

●目標温度は低温制限値より低い温度の設定はできません。
　冷凍運転時：**-30℃**以下の値
　冷蔵運転時：　**2℃**以下の値

低温制限値：冷え過ぎを防止ための設定温度下限値

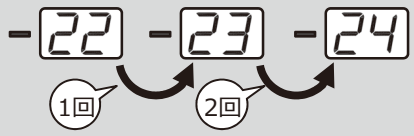
例）-24℃から-22℃に変更する場合

棚 ▲ **を2回押し、設定値を上げる**



例）-22℃から-24℃に変更する場合

トップ ▼ **を2回押し、設定値を下げる**



3 温度設定 を押し、確定する

●運転モードに戻ります。

（庫内温度-24℃の場合）

現在の庫内温度表示に戻ります

冷凍・冷蔵目標温度設定値の目安

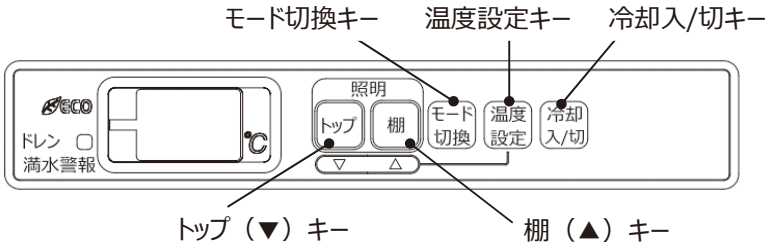
切替スイッチ	用途	目標温度設定値
冷凍	アイスクリーム	-24℃
	冷食	-20℃
冷蔵	日配	5℃

●冷凍・冷蔵切り替えを行った上で設定値を変更してください。
切り替えを行わず設定値のみで調整した場合、冷却性能が保てなくなる原因になります。

ご使用方法 つづき

コントローラー キー操作ロック機能について

いたずら防止のため、コントローラーのキー操作をロック（操作禁止）することができます。



キー操作ロックのパターン

設定値によって以下のキー操作ロック（操作禁止）パターンが選択できます。（設定方法 P.17 ）

設定値	ロックされる操作キー				
-00	工場出荷時設定値です。キー操作ロックは解除されています。				
-01	トップ	棚	モード切換	温度設定	冷却入/切
-02			モード切換	温度設定	冷却入/切
-03			モード切換		冷却入/切
-04			モード切換		

キー操作ロックされる内容

操作キー	キー操作ロックの内容
トップ 棚	照明ON/OFF操作や設定値変更操作をロックします。 （例 照明点灯中に設定した場合は、操作をしても消灯しません）
モード切換	アフターサービス時の確認操作・設定値の変更操作をロックします。
温度設定	コールド運転時の目標温度値変更操作をロックします。
冷却入/切	冷却運転の開始・停止操作をロックします。 （例 冷却運転中に設定した場合は、操作をしても冷却運転は停止しません）

キー操作ロック中に操作すると表示部に -Lc 表示されます。

キー操作ロック中は一時解除で操作可能になります。 P.18

コントローラー　キー操作ロックのしかた

キー操作ロックをしていない状態からキー操作ロックを設定するときは以下の手順で設定できます。

		コントローラー表示内容
1	モード切換 **を3秒以上押し続ける** ●設定モードに変更します。	uE（庫内温度表示から"uE"表示に変わります）
2	モード切換 **を1回押し、モニタ記号 cO を選択する** ●続けて押すと、モニタ記号は"uE"に戻ります。	uE → cO
3	トップ ▼ **を2回押し、モニタ番号 cE を選択する** ●続けて押すと、モニタ記号は"c0"に戻ります。	cO（1回）→ cH（2回）→ cE
4	温度設定 **を押し、設定値を表示する** ●キー操作ロックしていないときは"00"が表示されます。	00（キー操作ロックなし"00"の場合）
5	棚 ▲ **を押し、設定値を変更する** 00 :ロック解除 01 :モード切換・温度設定・冷却入/切・照明をロック 02 :モード切換・温度設定・冷却入/切 をロック 03 :モード切換・冷却入/切 をロック 04 :モード切換 をロック 詳細は P.16	00（1回）→ 01（2回）→ 02（3回）→ 03（4回）→ 04 → 00 （内容に合わせ設定値を選択してください。）
6	温度設定 **を押し、確定する**	02 → cH （例　設定値"02"を設定の場合）
7	モード切換 **を3秒以上押し続ける** ●運転モードに戻ります。	5（例　庫内温度5℃の場合）　または　- -（バーバー表示） **現在の庫内温度または、バーバーが表示されます**

ご使用方法 つづき

コントローラー キー操作ロック一時解除のしかた

キー操作ロック中に操作するときは、一時解除をしてください。

1 モード切換 **を3回押す**

●操作完了してから5分経過後、再び
キー操作ロックされます。

コントローラー表示内容

"Lc"⇒"OF"が2回繰り返し表示されて、元の表示に戻ります

コントローラー キー操作ロック変更・解除のしかた

キー操作ロックの解除、変更は以下の手順でできます。

コントローラー表示内容

1 モード切換 **を3回押して操作可能にする**

"Lc"⇒"OF"が2回繰り返し表示されて、元の表示に戻ります

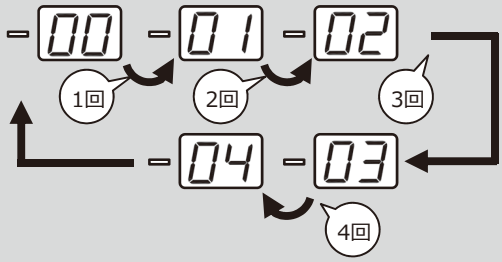
2 P.17 **の手順1～4で設定値を表示する**

（設定値"02"の場合）

3 棚 **を押し、設定値を変更する**

00 :ロック解除
01 :モード切換・温度設定・冷却入/切・照明をロック
02 :モード切換・温度設定・冷却入/切 をロック
03 :モード切換・冷却入/切 をロック
04 :モード切換 をロック

詳細は P.16



（内容に合わせ設定値を選択してください。）

4 温度設定 **を押し、確定する**

（例 設定値"01"を設定の場合）

5 モード切換 **を3秒以上押し続ける**

●運転モードに戻ります。

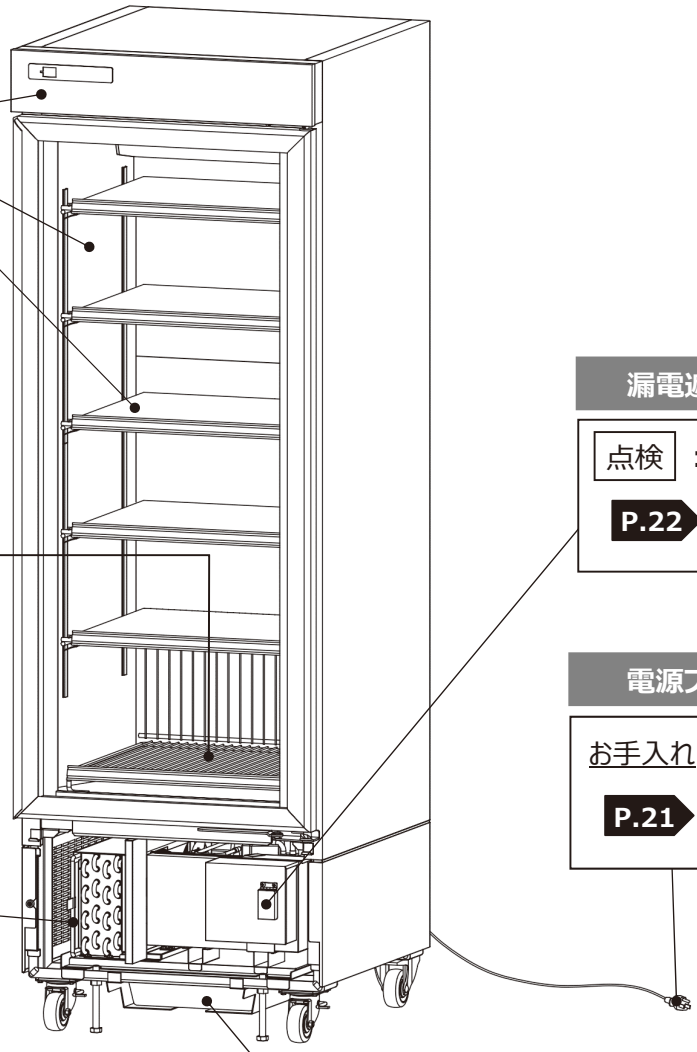
（例 庫内温度5℃の場合） （バーバー表示）

現在の庫内温度または、バーバーが表示されます

お手入れと点検

製品を長く、清潔にご使用いただくために定期的にお手入れ・点検をしてください。

お手入れ・点検箇所と頻度



外装・庫内・ガラス

お手入れ：日常

- 乾いた布でから拭きをしてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、うすめた台所用洗剤（中性洗剤）を含ませた布で拭いたあと、水を含ませた布で拭き取ってください。
- 洗剤は原液のままで使用しないでください。

ドレン口・ドレン溝

お手入れ：月に1回

- 庫内のスノコを取りはずしお手入れをしてください。

P.22

フィルター

お手入れ：月に1回

P.21

漏電遮断器

点検：月に1回以上

P.22

電源プラグ

お手入れ：半年に1回

P.21

ドレン皿

お手入れ：1日1回以上

- ドレン皿にたまった水は、1日1回以上排水をしてください。（特に梅雨時期や夏場）
- ドレン皿が満水になるとコントローラーのドレン満水警報を点滅してお知らせします。ドレン皿の水を排水して警報を解除してください。

P.14

お願い

●以下のものは使用しないでください。

（傷つき・腐食・変色・変形の原因になります）

- ◆台所用洗剤（中性洗剤）以外の洗剤
- ◆ベンジン・シンナー・漂白剤・クレンザー・アルコール
- ◆スチールタワシ・タワシ
- ◆熱湯・酸

⚠ 警告	**製品に直接水をかけない** 漏電・感電の原因

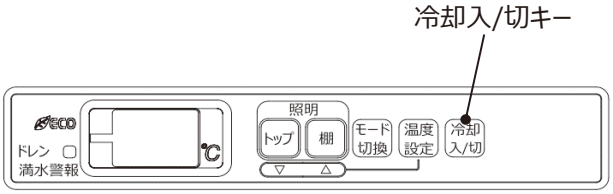
お手入れと点検 つづき

お手入れをする前に

お手入れのときは必ず下記の手順で冷却運転を停止し、安全のために電源プラグを抜くか漏電遮断器を切ってください。

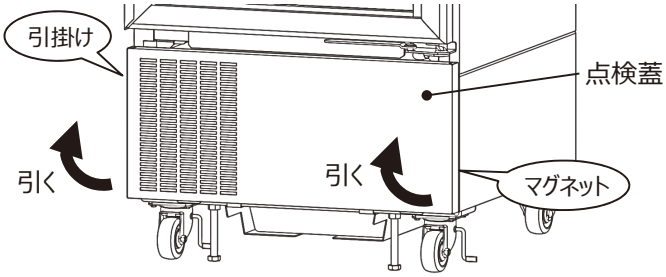
1 冷却入/切 **を3秒以上押し、**

運転を停止する

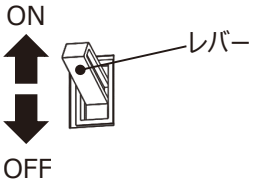


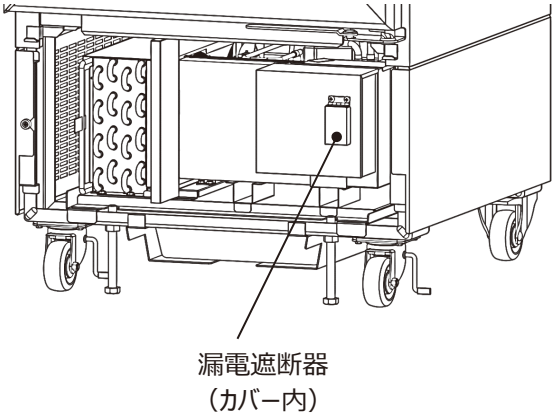
2 **点検蓋をはずす**

● 点検蓋は上側引掛け、下側マグネット固定です。下側を手前に引いてマグネットをはずし、上に持ち上げるとはずれます。



3 **電源プラグを抜くか漏電遮断器を「OFF」にする**





⚠ 警告	**お手入れや点検のときは必ず電源プラグを抜くか漏電遮断器を切る** 感電・ケガの原因

お手入れが終わりましたら、逆の手順で冷却運転を開始してください。
再び電源プラグを差すときはほこりをよく取り除き、根元まで確実に差し込んでください。

お手入れのしかた

フィルター　お手入れ：月に１回

ほこりがたまった状態で運転を続けると、圧縮機故障の原因になります。

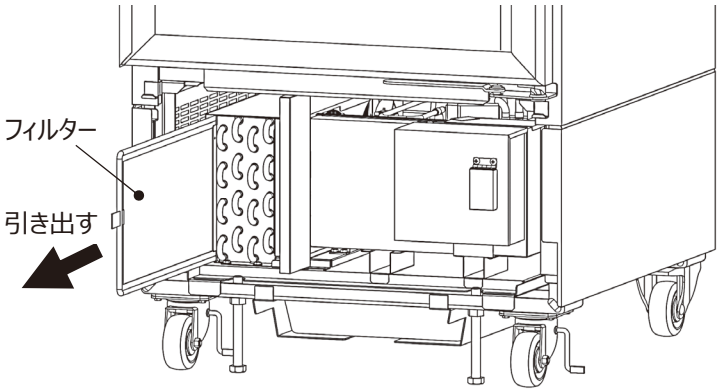
1 **電源を切る** P.20

●お手入れのときは電源を切ってください。

⚠注意	**フィルター清掃時は凝縮器フィンに直接手を触れない** ケガの原因

2 **フィルターを引き出してほこりをよく取り除く**

●掃除機や、やわらかいブラシで取り除いてください。



点検が終わりましたら、フィルターを正しい向きに入れ直し、運転を再開してください。

電源プラグ　お手入れ：半年に1回

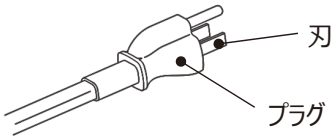
ほこりがたまった状態で使用すると、絶縁不良による火災の原因になります。

1 **電源を切る** P.20

●お手入れのときは電源を切ってください。

2 **電源プラグや刃のほこりをよく取り除く**

●水ぶきや水洗いはしないでください。



3 **電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込む**

⚠警告	**電源プラグは、がたのないように刃の根元まで確実に差し込む** 火災・感電の原因

お手入れと点検 つづき

ドレン口・ドレン溝　お手入れ：月に1回

ドレン口がつまった状態で使用すると、ドレン水が排水されず、庫内に水があふれる原因になります。

1 **電源を切る** P.20

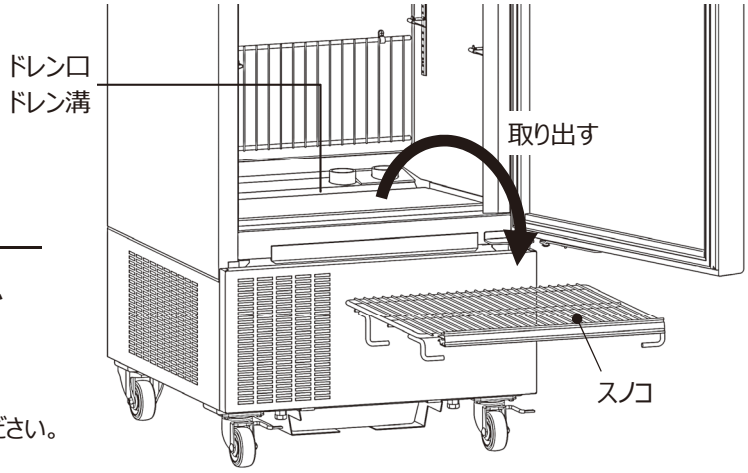
●お手入れのときは電源を切ってください。

2 **スノコを取り外す**

3 **ドレン口やドレン溝に異物やつまりがあるときは取り除く**

●汚れがある場合は水を含ませた布でふいてください。

●ドレン口に直接水を流して清掃しないでください。
水漏れの原因になります。



※ドレン口・ドレン溝はスノコを取り外すと見えます。

点検のしかた

漏電遮断器　点検：月に1回以上

故障した状態でご使用すると、火災・感電の原因になります。

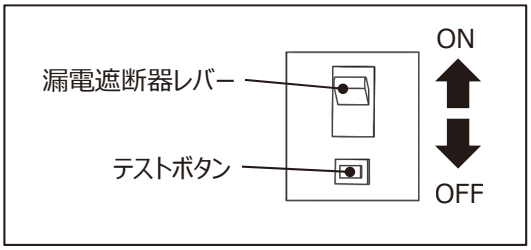
1 **冷却運転を停止する** P.12

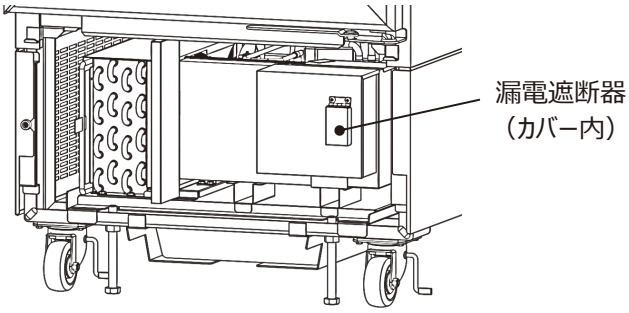
●点検は電源が入っている状態で行ってください。

⚠警告	**漏電遮断器は定期的に動作を確認する** 火災・感電の原因

2 **漏電遮断器のテストボタンを押す**

●正しく作動するとレバーが「OFF」になります。





3 **作動確認後、レバーの位置を「OFF」から「ON」にする**

点検時に正しく漏電遮断器が作動しないとき

運転を停止して必ず電源プラグをコンセントから抜き、
商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、
お買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前に以下の項目をお調べください。お調べになっても不具合がある場合は運転を停止して、必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上でお買い上げの販売店にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
運転しない	停電ではありませんか。	停電解消までお待ちください。 停電解消ののち、運転を再開します。
	お店の電源ヒューズや配線用 漏電遮断器がきれていませんか。	お店の電源ヒューズや配線用 漏電遮断器をご確認ください。
	電源プラグがコンセントから 抜けていませんか。	電源プラグや刃のほこりをよく取り除き根元まで 確実に差し込んでください。
	ショーケースの漏電遮断器が「OFF」 になっていませんか。	漏電遮断器を「ON」にしてください。
	− − が表示されていませんか。	冷却運転停止中です。 冷却運転を開始してください。 P.12
	− dF が表示されていませんか。	霜取り運転を行っています。 45分程で運転を再開します。 P.7
	温調運転中ではありませんか。	庫内温度が規定値に達すると運転を再開します。 しばらく経ってから圧縮機と送風機（凝縮器）が 運転しているか確認してください。
	運転停止後5分以内で運転を 再開していませんか。	運転後停止後、5分以内に再開した場合は、 圧縮機は5分経過後に運転を開始します。
音がうるさい	床がしっかりしたところに 据え付けていますか。	水平で床が丈夫な場所に 据え付けてください。 P.9
	ショーケースが壁や物など にあたっていませんか。	ショーケースが壁や物などにあたらない ように据え付け位置を調整してください。
照明が つかない	LEDの配線コネクタはしっかり 差し込まれていますか。	コネクタをしっかり差し込んでください。
	LEDが切れていませんか。	LEDを交換してください。

故障かな?と思ったら つづき

現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない	ショーケースの吸気・排気スペースを確保していますか。	機械室の吸気・排気のために10cm以上すきまをあけてください。 P.8
	直射日光があたったり、近くに熱源はありませんか。	周囲の温度が上昇し、冷却性能が悪くなる原因になりますので据え付け場所を調整してください。 P.8
	冷 [ー ー] が表示されていませんか。	冷却運転停止中です。冷却運転を開始してください。 P.12
	冷気の吹出口・吸込口を商品などで塞いでいませんか。	冷気の吹出口・吸込口から商品などを取り除いてください。 P.13
	フィルターが目詰まりしていませんか。	フィルターのお手入れしてください。 P.21
	扉が開いていませんか。	ショーケースが前側に傾いていると扉が閉まりにくくなりますので前後の傾きを調整してください。 P.9
	冷凍運転のときに温度切替スイッチを「冷蔵」でご使用されていませんか。	温度切替スイッチを確認してください。正しい温度帯でご使用ください。 P.14
日配商品が冷えすぎる	冷蔵運転のときに温度切替スイッチを「冷凍」でご使用されていませんか。	温度切替スイッチを確認してください。正しい温度帯でご使用ください。 P.14
ドレン水が床にたれる	ドレン皿を正しく取り付けていますか。	ドレン皿を取り付けていることを確認し、奥につきあたるまで挿入してください。 P.14

コントローラーにエラー表示が出たときは

庫内温度表示と以下の表示が交互に表示されているときは、原因の確認と処置を行なってください。

現象	原因の確認	処置方法
E3（イーサン）	圧縮機が高温になっています。 フィルターが目詰まりしていませんか。	フィルターのお手入れをして、運転を再開してください。 P.21
E4（イーヨン）	吐出圧力が高くなっています。 フィルターが目詰まりしていませんか。	
E5（イーゴ）	圧縮機吐出配管が高温になっています。 フィルターが目詰まりしていませんか。	
ドレン満水警報（点滅）	ドレン皿に容量半分以上の水がたまっていませんか。またはドレン皿の位置がずれていませんか。	ドレン皿の水を排水してください。 ドレン皿を奥につきあたるまで挿入してください。 P.14

その他の表示が出たときは

つぎのような表示が出ているときは部品が故障している可能性があります。
運転を停止して、必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- **上記以外の表示が庫内温度と交互表示しているとき**
- **庫内温度表示が点滅（点滅周期 3秒点灯　0.5秒消灯しているとき）**

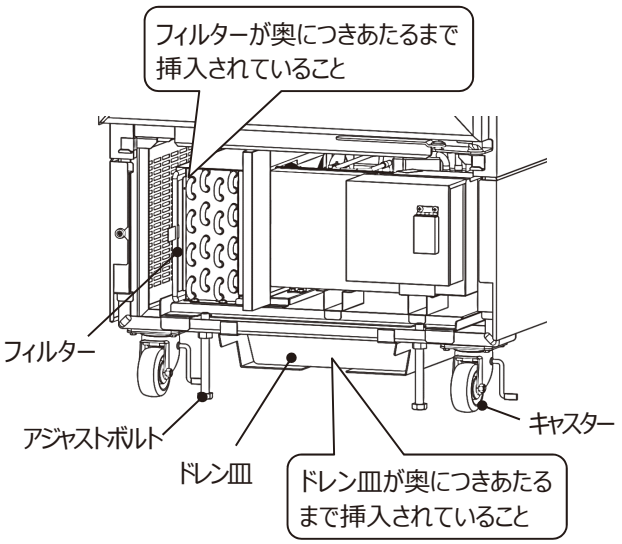
◇ 庫内温度表示が**点滅周期 0.5秒点灯　0.5秒消灯**で点滅しているときは除霜禁止モードです。
コントローラーの温度設定キーを2回押して点滅が解除されるか確認してください。（故障ではありません）

据付工事確認と試運転

試運転を行うときは、立ち会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、据付実施者から説明を受けてください。

据付工事完了時の確認事項

- アジャストボルトとキャスターのストッパーは固定されていますか。 □ P.9
- ショーケースの吸気・排気スペースは確保されていますか。 □ P.8
- ショーケース専用のコンセントを使用していますか。 □ P.10
- フィルターが挿入されていますか。 □
- ドレン皿が挿入されてますか。 □



保管・移設・廃棄について

長期間ご使用にならないとき

- 庫内の商品を全て取り出し、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 水のかかる場所や、湿気の多いところには保管しないでください。
- 直射日光のあたるところには保管しないでください。
- 製品を保管するときは幼児が遊ぶ場所をさけてください。
- ドレン口・ドレン溝とその周りをきれいに清掃し、水気を十分拭きとったあと、よく乾燥させてください。
- ドレン皿の水を捨ててください。

移設をするとき

- 移設は販売店または専門業者にご依頼ください。
- 取扱説明書と「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）を製品の目立つところに添付してください。

廃棄をするとき

- このショーケースはフロン排出抑制法第1種特定製品です。廃棄をするときは専門業者にご依頼ください。
- この製品には冷媒としてHFC（フロン）が使用されています。

1）フロン類をみだりに大気放出することは法律で禁じられています。
2）この製品を廃棄・整備する場合にはフロン類の回収が必要です。
　回収は都道府県に登録された第1種フロン類回収業者にご依頼ください。
3）フロン類の種類及び質量は、庫内機種名板に記載されています。

仕様

項目 ＼ 形名				GF-JD214DRVA
用途			冷凍	アイスクリーム・冷凍食品
			冷蔵	日配（飲料）
庫内温度			℃	冷凍：-22～-18℃ / 日配：2～8℃
電源			-	単相100V
本体	外形寸法	高さ	mm	1942
		幅	mm	610
		奥行	mm	680
	有効内容積		L	286
	陳列面積		m^2	1.25
	外装		-	表面処理鋼板焼付塗装・ガラス・PVC樹脂
	内装		-	表面処理鋼板焼付塗装
	断熱材		-	ウレタン注入発泡
	扉		-	スイング式 1枚（ヒータ入り3重ガラス）
	陳列棚		-	5段（高さ調節可能）
	脚部		-	前側：ゴム車輪径Φ75自在キャスター2個（旋回・ストッパー付） 後側：ゴム車輪径Φ75固定キャスター2個（ストッパー無）
	照明灯		-	LED（昼白色：5000K）13W×1
圧縮機	形式		-	全密閉形ロータリー式インバータ
	呼称出力		W	900
冷却器形式			-	クロスフィンチューブ（強制通風式）
凝縮器形式			-	クロスフィンチューブ（強制通風式）
冷媒	制御方式		-	電子式膨張弁
	種類		-	R410A
	充填量		g	300
地球温暖化係数（GWP）			-	2090
除霜方式			-	冷凍時：ヒーター方式　冷蔵時：オフサイクル方式
温度制御			-	マイコン制御
標準装備			-	ドレン皿（5.5L）、デジタル温度計（コントローラー）、漏電遮断器、水位センサ、アジャストボルト（2本）
付属品			-	受け金具、スノコ、棚、棚板
製品質量			kg	133
オプション			-	-

品質向上のため、おことわりなく一部仕様を変更する場合がございます。

保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

●「保証書」は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。

●「保証書」は内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から１年間です。
（冷凍サイクル用部品は２年間です。）

■補修用性能部品の保有期間

●当社は、このショーケースの補修用性能部品を製造打切後12年保有しています。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お買い上げの販売店か「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（P.23～25）にしたがってお調べください。

●なお、不具合がある場合は運転を停止して必ず電源プラグを抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上でお買い上げの販売店にご連絡ください。

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

●保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料になることがあります。

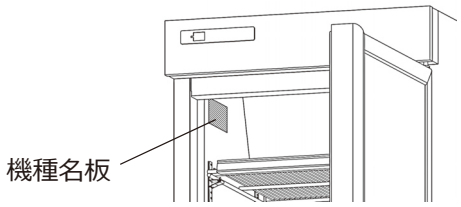
●修理料金は

技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

・技術料・・・製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
・部品代・・・修理に使用した部品代金です。
・出張料・・・お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

●ご連絡頂きたい内容

1. 品名　三菱リーチインショーケース
2. 形名　庫内機種名板に記載
   ＜例）GF-JD214DRVA＞
3. 製造番号（庫内機種名板に記載の8桁の番号）



4. 故障の状況（できるだけ具体的に）
5. 設置年月日
6. 設置場所のご住所
7. お名前・電話番号・訪問希望日

便　利　メ　モ	お買い上げ販売店名
	電話番号

三菱電機株式会社
三菱電機冷熱応用システム株式会社
〒640-8686 和歌山市手平6丁目5番66号（三菱電機（株）冷熱システム製作所内）

ES79D366H01